

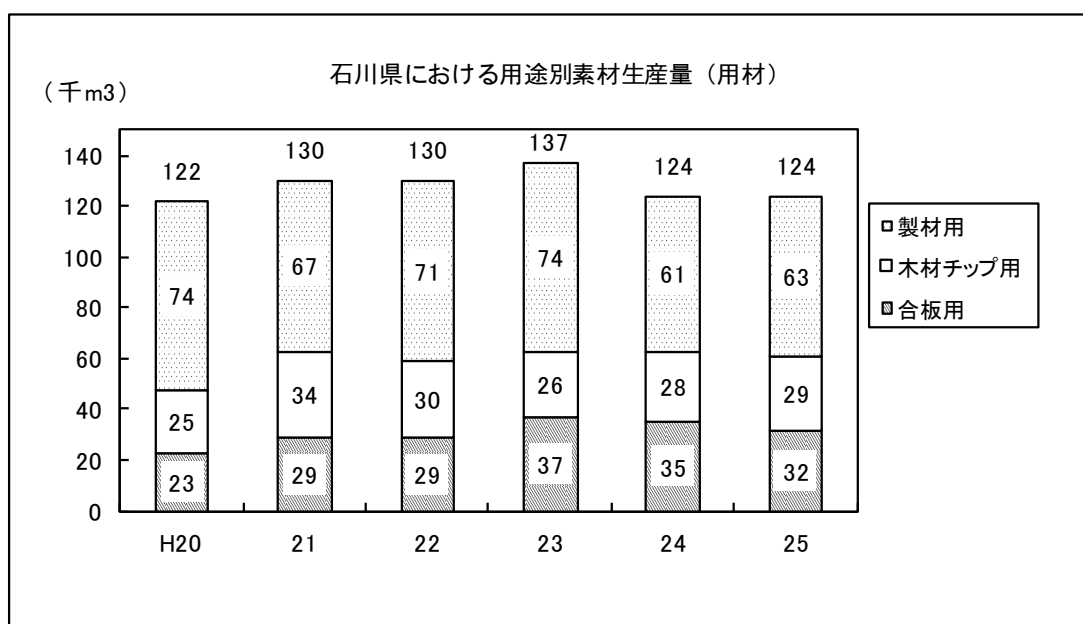
I 石川県における木材の加工流通の概要

1 木材需給の現況

(1) 素材(丸太)

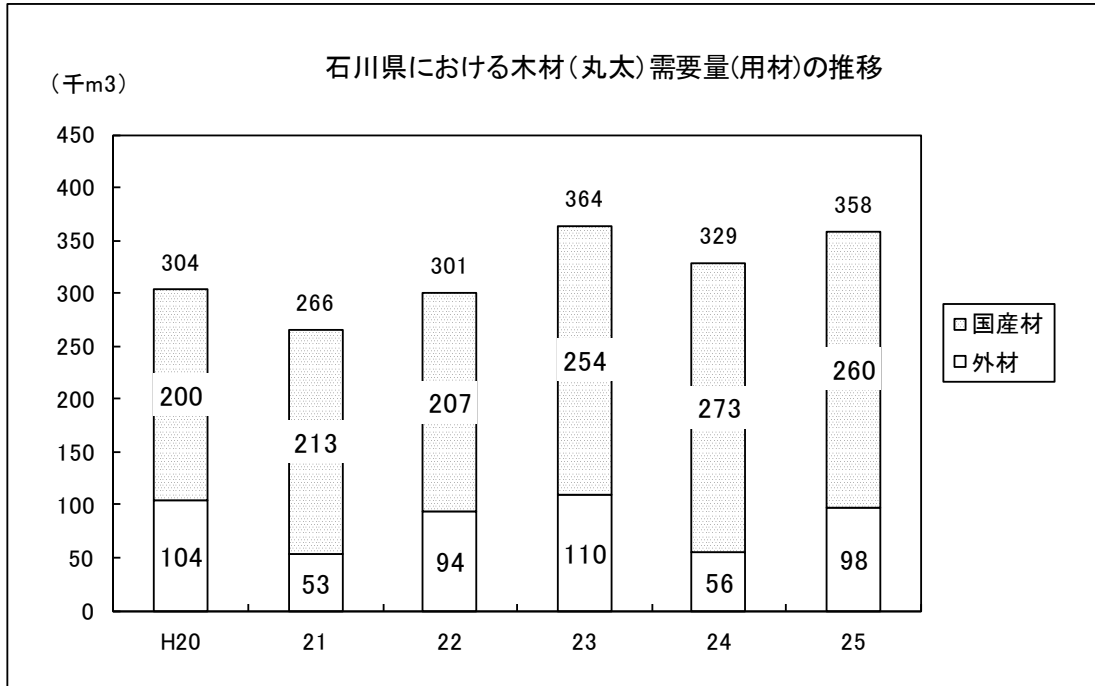
○ 素材生産量は横ばい(Ⅱ-2表)

平成25年次の県内素材生産量は124千 m^3 (対前年100.0%)であった。
用途別では、製材用が63千 m^3 (対前年103.3%)、合板用が32千 m^3 (対前年91.4%)、チップ用が29千 m^3 (対前年103.6%)となった。



○ 木材需要量は増加(Ⅱ-8表)

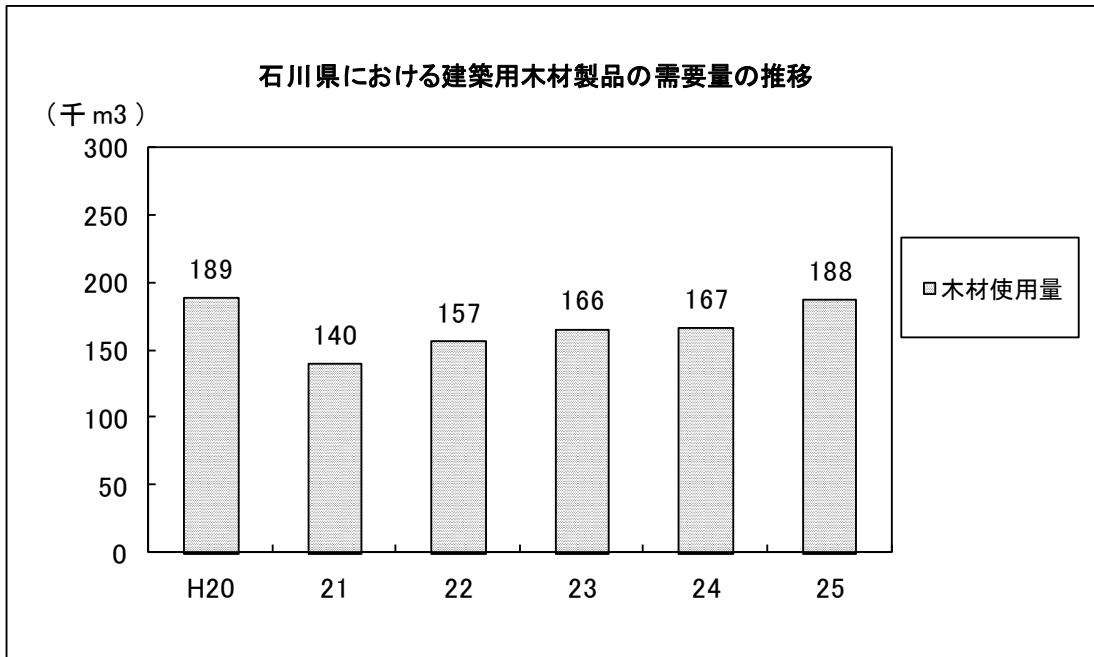
平成25年次の県内木材(丸太)需要量は358千 m^3 (対前年108.8%)となった。内訳は、国産材が260千 m^3 (対前年95.2%)、外材が98千 m^3 (対前年175.0%)であり、国産材の割合は、72.6%(対前年10.3ポイント減)となった。



(2) 製品

○ 建築用木材製品の需要量が増加 (VI-3表)

平成25年次の県内建築物着工床面積は木造738千m²(対前年比114.2%)、非木造704千m²(対前年比109.0%)であったことから、建築用木材製品の需要量(推計)は188千m³(対前年112.6%)となった。



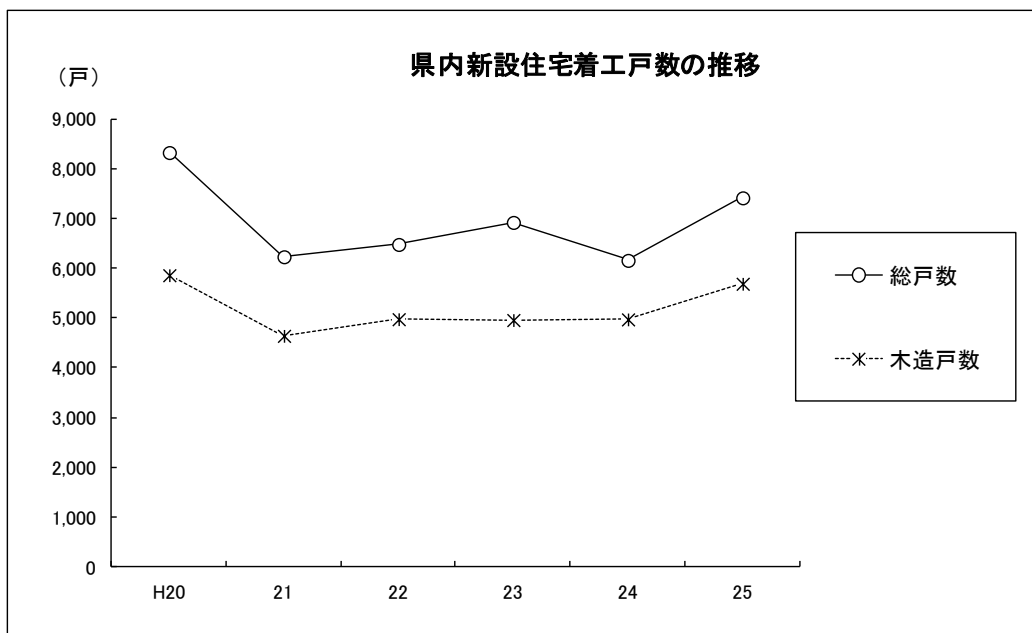
【推計方法】 木造：着工床面積(m²)×0.180(m³/m²)
 非木造：着工床面積(m²)×0.078(m³/m²)

(3) 新設住宅着工戸数の推移

○ 新設住宅着工戸数、木造戸数ともに増加 (VI-1表)

平成 25 年次の県内新設住宅着工数 7,421 戸(対前年 107.1%)のうち木造住宅は 5,694 戸(対前年 114.7%)となった。新設住宅着工数の木造率は 76.7%(対前年 4.1ポイント減)であった。

着工新設住宅の総床面積は 801 千㎡(対前年 121.2%)で、1戸当たりの平均床面積は 107.9 ㎡(対前年 100.7%)であった。



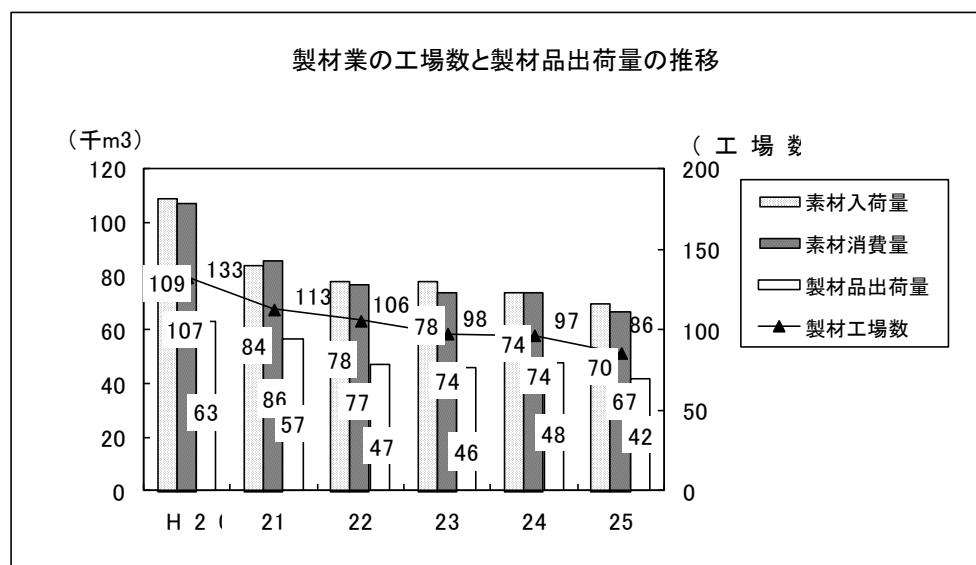
2 木材加工業の現状

(1) 製材業

○ 工場数が減少 (III-2表)

平成 25 年次の県内製材工場数は 86 工場(対前年 11 工場減)、従業者数は 258 人(対前年 21 人減)となり、素材消費量は 67 千㎡(対前年 90.5%)であった。

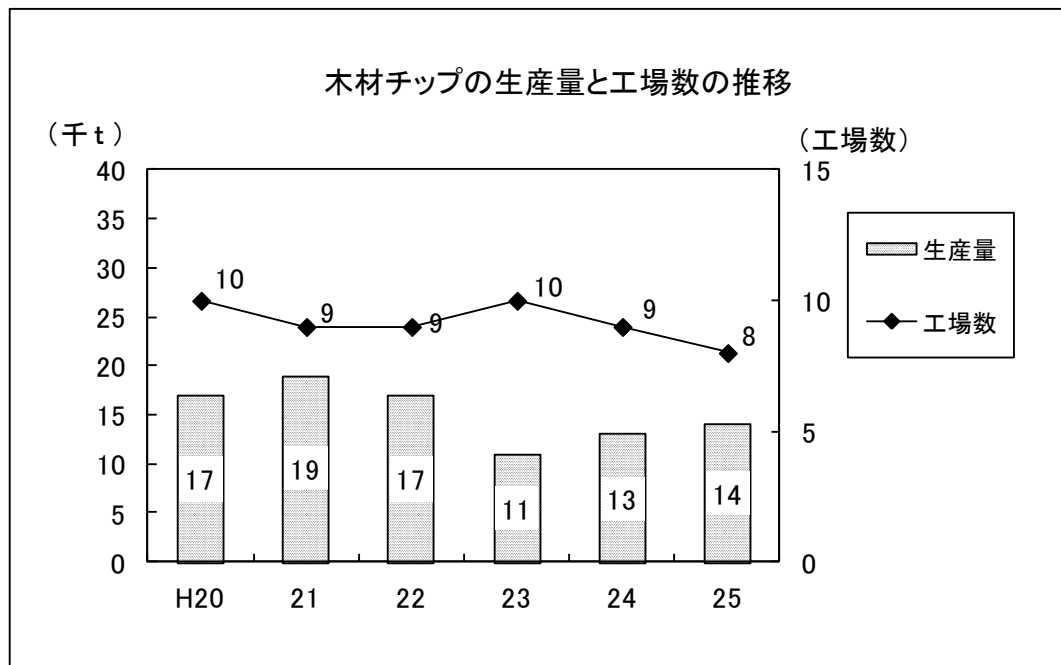
また、動力の総出力数は、7,516kW(前年比 88.9%)であり、1工場当たりの平均出力数は 87.4kW であった。



(2) 木材チップ工業

○ 生産量が増加 (Ⅲ-6表)

平成25年次の県内木材チップ生産量は、14千t(対前年107.7%)となった。原材料入手区分別では、工場残材が5千t(対前年100.0%)、素材が9千t(対前年112.5%)となった。工場数は8工場(対前年比1工場減)であった。



※合板加工業については、1社のみであるため記載を省略

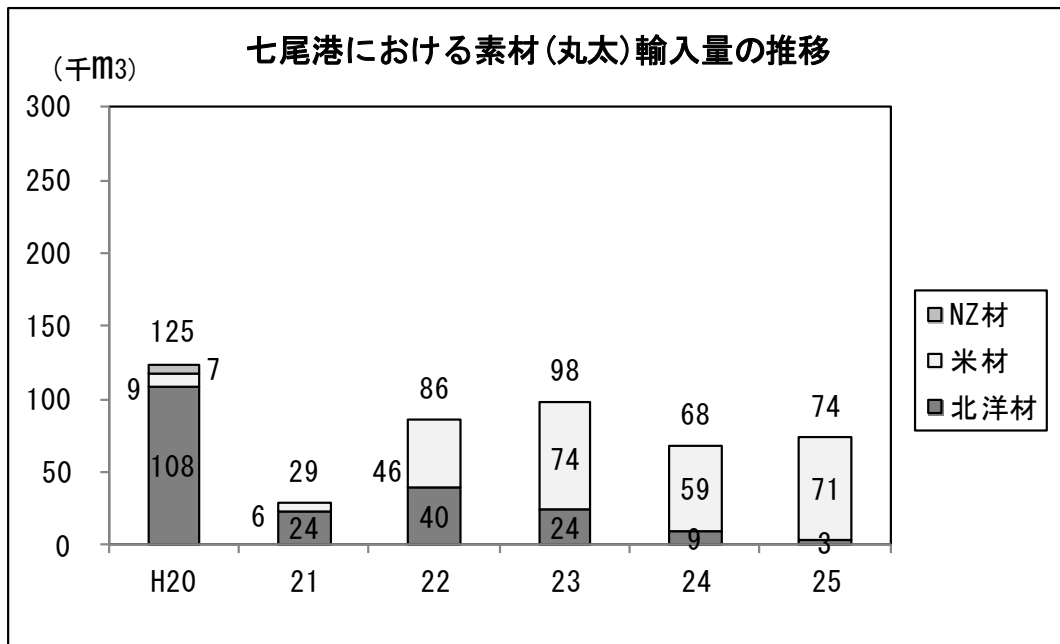
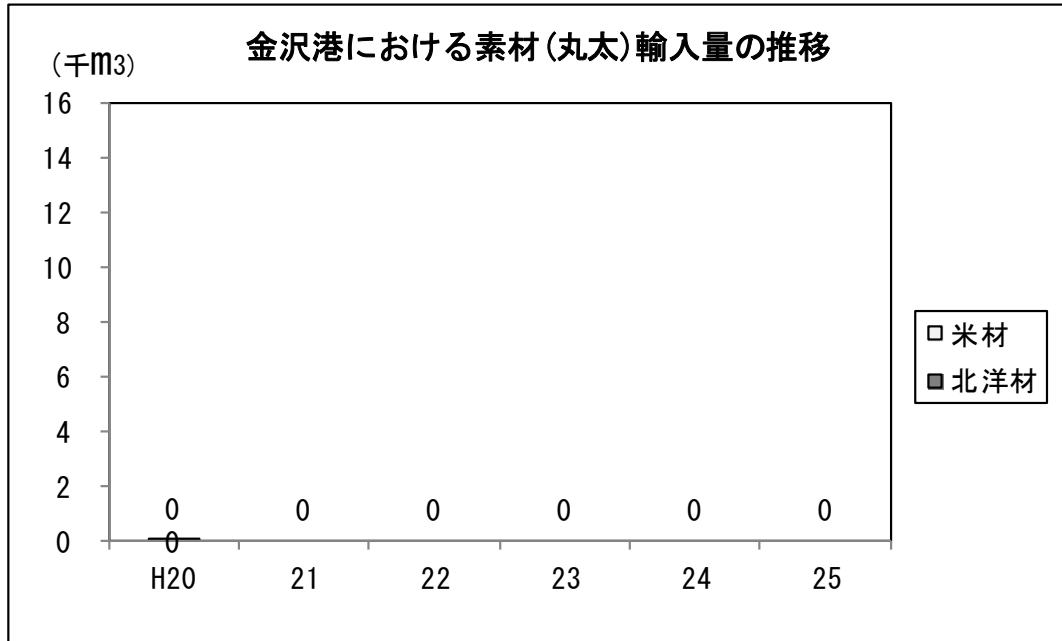
3 木材輸入の動向

(1) 素材(丸太)

○ 輸入量が増加 (Ⅳ-1・2表)

平成25年次の県内素材(丸太)輸入総量は73,715m³(対前年108.4%)で、そのすべてが七尾湾への陸上げであった。内訳は、北洋材が3,113m³(対前年33.3%)、米材が70,601m³(対前年120.4%)であった。

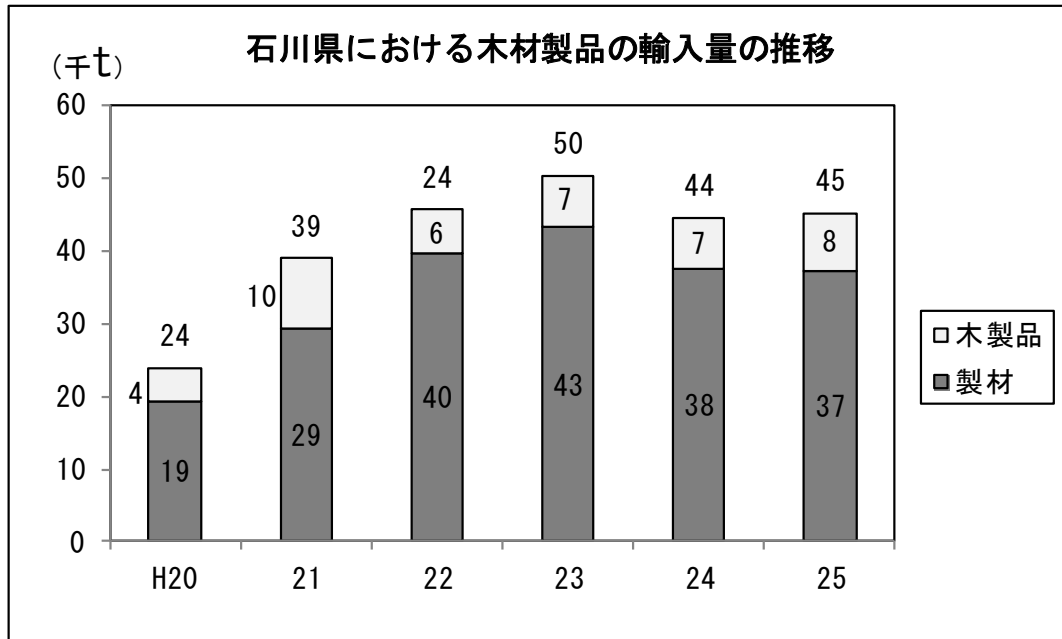
北洋材の内訳をみると、エゾマツが3,113 m³(構成比100.0%)と全てエゾマツであった。



(2) 製品 (IV-3・4表)

平成 25 年次の県内木材製品の輸入総量は 45,203t(対前年比 101.6%)で、その内訳は製材が 37,224t(対前年比 99.2%)、木製品が 7,979t(対前年比 115.1%)であった。

注：木製品は、合板、集成材、建具等を指す。

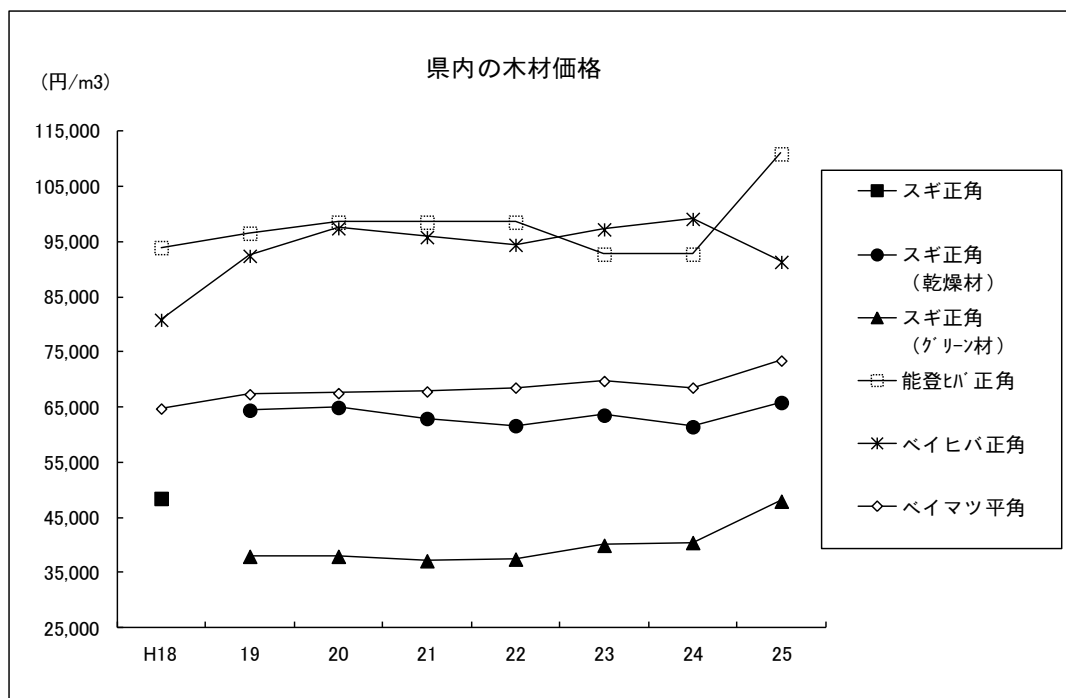


4 木材価格の動向

(1) 製品

○ 製品価格が上昇 (V-2表1)

平成25年次の県内の木材製品価格は、スギ正角（乾燥材）65,900円/m³（対前年4,400円高）、スギ正角（グリーン材）48,000円/m³（対前年7,500円高）、スギ正割55,900円/m³（対前年3,700円高）、能登ヒバ正角111,000円/m³（対前年18,200円高）となり、ベイヒバ正角91,400円/m³（対前年7,800円安）、ベイマツ平角73,500円/m³（対前年4,900円高）となった。



平成19年5月から価格動向調査の調査項目を一部変更。

注：スギ正角の調査について、乾燥材とグリーン材に分けて調査開始。

(2) 素材(丸太)

○ 原木価格が上昇 (V-2表2)

平成 25 年次の県内の素材価格は、スギ 10,900 円/m³(対前年 500 円高)、能登ヒバ 18,400 円/m³ (対前年 3,500 円高) 北洋カラマツは 21,000 円/m³(対前年 1,000 円高) ベイマツ 27,700 円/m³(対前年 2,600 円高)となった。

